

計画書デザインの方向性について

1. 表紙のデザインコンセプト（案）

(1) 前提として抑えておくべき要素・ポイント

- 計画の理念は「魅力的な地域資源をみんなでつなぐ もっと豊かに笑顔あふれるしろい」である。
 - 「魅力的な地域資源」として、「生活環境」「自然環境」「歴史・文化・農」「商業・工業環境」「地域活動」がある。
 - 「みんな」には、「今後人口減少が見込まれることも踏まえ、行政だけでなく、市民、事業者、活動団体など様々な担い手が一緒に取り組んでいく」という思いが含まれている。
 - 「つなぐ」には、「次世代へ継承する」という思いが含まれている。
 - 市の今後の発展に向け、今ある地域資源を活用していくことも考えていく。
- 施策は、行為の方向性として「まもる」「たかめる」「つくる」「そだてる」の大きく四つに分類されている。
- 令和6年5月に実施した白井市景観・みどりに関する市民アンケート調査より、谷津田や法目、平塚などに代表される旧市街地の風景などがどこにあるのかわからない人が一定程度いることを確認している。
- 手に取って中を読みたくするようなデザインにする必要がある。
- 計画が実行されることにより実現される風景がイメージできるような、人の活動が具体的に表現されたものが望ましい。（池邊委員からのご意見）

(2) デザインコンセプト（案）

	コンセプト案	考え方
①	基本理念 「魅力的な地域資源をみんなでつなぐ」	- 理念「魅力的な地域資源をみんなでつなぐ」を描く案 - 市内の多様な主体との連携協働：二重らせんのモチーフを年齢・性別・国籍・属性（市民・事業者・活動団体・行政）の異なる人々が手をつないでいる様子で表現 - 次世代に継承する：二重らせんのモチーフの外に魅力的な地域資源、中にそれらを保全・活用している人々の活動をそれぞれイラストと写真で表現
②	基本理念「もっと豊かに笑顔あふれるしろい」	- 理念「もっと豊かに笑顔あふれるしろい」を描く案 - イラストで魅力的な地域資源の広がりとその上で行われる人々の暮らしの様子をひとつながりの地域として描くことで、市全体として目指す将来像「もっと豊かに笑顔あふれるしろい」を表現
③	計画の構成・考え方	- 計画の構造（基本理念と行為の方向性の関係）を表す案 - 行為の方向性（「まもる」「たかめる」「つくる」「そだてる」）によって、「もっと豊かに笑顔あふれる」白井市の将来を生み出すという計画の構成を象徴的に表現
④	地域資源そのものの魅力	- 市内の魅力的な地域資源について認知を図る案 - 地域資源を写真で具体的に示す。 - 複数の写真をモザイク状に配置することで、多様な地域資源が集まり白井市の魅力を形づくっていることを表現。 ※写真権利や被写体の許可取りがあるため、必ずしも載せたい写真を採用できるとは限らないことには留意が必要

2. 見開き（中表紙・帯・インデックス等）

(1) 基本的な考え方

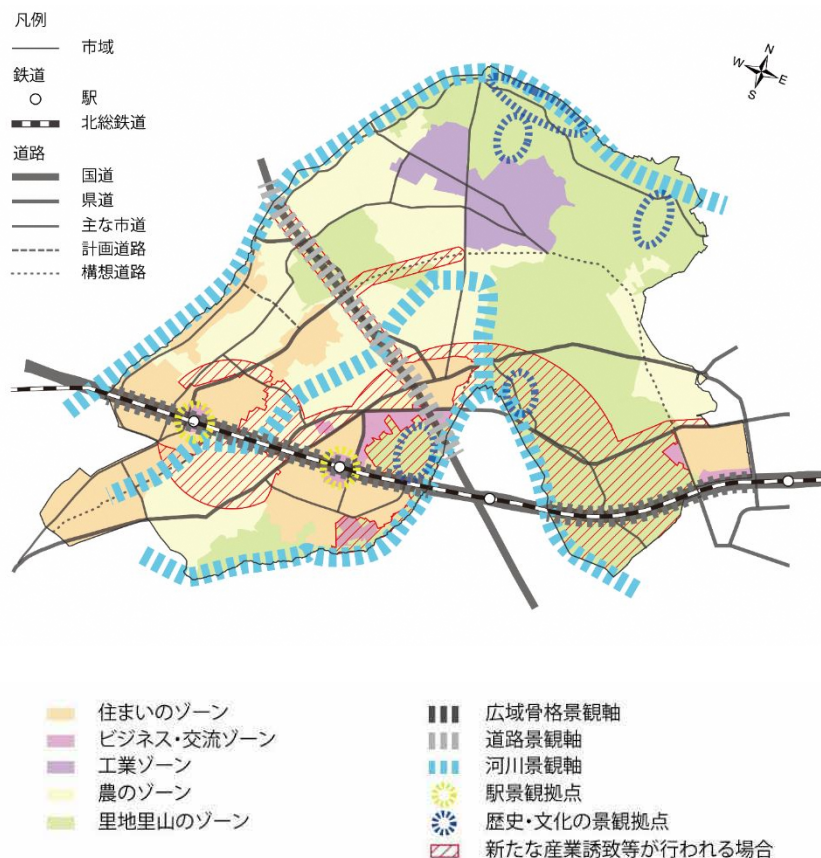
- キーカラーが入るシンプルなデザインとする。（視認性、読みやすさを重視する）
- 冊子全体で配色を統一し、シンプルで柔らかな印象な色使いとする。
- 「みどり」が白井市の景観を構成する重要な要素であることをふまえ、濃い目の緑をメインカラーとする。
- 現状の計画(案)では、基本方針と区域のゾーン・軸ごとに色分け(5色)をしている。これらの色分けは可能な限り残す。（今後定めていく基調色と現在使用している色が同じような色合いの場合は、現在使用している色を変更することで対応する。）

<現在の計画(案)で使用されている色分け>

■基本方針

- (1)豊かな生活環境をもたらす
景観とみどりを形成する
- (2)生活に身近で豊かな自然環境を
保全・活用する
- (3)白井固有の歴史・文化・農の
資源を継承する
- (4)地域資源を活かしたうまいある
商工業地の景観とみどりを創出する
- (5)景観やみどりづくりに取り組む
担い手を育成しつなぎ手を活用する

■景観形成方針図



(2) 配色（案）

- 白井市のシンボルマークに入っている緑色をメインカラーに設定する。



青：空と水を
 橙：梨と大地と稲穂
 緑：森と田園
 （参照：白井市 HP）

■配色案

メインカラー	#029666		
文字色	#1F2A44	#222222	#333333
アクセントカラー	#D4A017	#F28C28	#1979CC
サブカラー	#F3F5F7	#6B7280	#E7F3EE

※＃とその後続くアルファベット・数字はカラーコードを示す

■配色イメージ(案)

